

## 地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
  - (1) 一人ひとりの尊重
  - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
  - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
  - (4) 安心と安全を支える支援
  - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
  - (1) 居心地のよい環境づくり
  - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

### V. サービスの成果

#### ※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

#### ※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 グループホーム新荘の里

ユニット名 東棟・西棟(2ユニット)

自己評価実施年月日 平成 20年 9月 15日

記録者氏名 谷脇 さよき

記録年月日 平成 20年 9月 15日

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・職員全員で話し合い検討し、利用者の方々が、地域の方々との触れ合いを大切に和やかな雰囲気の中で安心して生活が送れる場所を提供できるような理念を作成した。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・朝礼の時、復唱、再確認を行い実践に務めている。又、全体会や朝礼時に具体的なケアや気付きの中で理念を再確認している。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・理念を開示している。御家族、来客等に理解を求めている、又、地区会の会合や地域の方々との交流時、イベント参加時等事業所の実践を伝えるようにしている。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・散歩時に近隣の人達と挨拶を交わしたり、小学生の登下校時の挨拶や話をしたりしている。又、須崎市の花火のイベント時近隣の方達に園庭を開放し皆で楽しんでいる。	
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地区会に入会、毎月の広報の配布や行事への参加等をしている。 ・地区の研修会、老人会、忘年会、溝掃除等行事に参加している。 ・保育園、小学生との交流を多く行っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の理解や接し方等の勉強会を開催し、地域の方々との交流の場としていきたい。</li> </ul>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価結果及び自己評価を活用し実地で来ていない部分は改善に取り組んでいる。</li> </ul>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・5ヶ所のGHで介護職員を対象とし認知症実践者研修会を提案。地域包括支援センターと協力しながらケア向上をめざしている。</li> </ul>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者だけでなく、職員も研修に積極的に参加し理解を深めていきたい。</li> </ul>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者だけでなく、職員も研修に積極的に参加し理解を深めていきたい。</li> </ul>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入所日よりまえに可能であれば本人、御家族に施設見学してもらった上、事前に説明・疑問点等を尋ねて理解、納得を図っている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・職員が傾聴し、管理者や御家族の連絡を密にしている。 ・相談員の来訪により、各人別に話を聞いてもらい、又、利用者の立場に立った意見をいただき、運営の参考にしている。 ・玄関にご意見箱を設置し、事由に意見を書いてもらえるようにしている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・語家族の来訪時や必要時には声をかけ、利用者の状況を話し合ったり、体調不良時早めに連絡報告を行っている。 ・誕生日会やスナップ写真作成し、御家族にお渡ししている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・運営推進会議に交替で参加してもらっている。御家族代表として意見をもらっている。 ・御家族訪問時には、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりを行っている。	○ ・家族会への参加を機関紙を通じて行い、御家族同士で意見や苦情等を出してもらえるよう取組んでいきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・月一回の所内研修会を開催している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・利用者の状態やペースに合わせたローテーションを組んでいる。(勤務変更により、アクシデントに対応した勤務体制を取る等)又、管理者は状況に応じた対応が出来るよう、通常シフトに入っていない為、夜間の対応や利用者の状態の変化に応じた柔軟な体制が取れている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・介護力のレベル格差が生じないように、利用者へのダメージを防ぐよう移動は必要最小限に行っている。	○  ・利用者家族への信頼関係を築く為にも、馴染みの職員が対応することが重要と考えており、必要最小限の移動としている。しかし、夜勤者が2ユニットの利用者全員と馴染みの関係作りが必要であり、良い関係作りに努力している。
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・個々の能力に応じて、研修参加への呼びかけ等行っている。又、研修に参加した職員には毎月の全体会議で発表してもらい。全職員が研修内容を共有している。	
20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・GH協会会議に出席したり研修や意見交換を行い、質の向上に励んでいる。又、三ヶ月に一回、市内の地域ケア会議内のGH分科会でも実地をしている。・地域のGHの職員との交流を持ち、意見交換や気分転換を図る機会を持っている。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・職員同士の人間関係を把握したり、職員のストレスや悩みを把握するよう努めている。又親睦会(忘年会)、地域のGHの職員との交流により気分転換を図る機会を持っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・職員の資格取得に向けた支援を行い、職員が向上心を持って働けるよう、年2回職能評価を行っている。</p>	
<p><b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・御家族の話聞き、生活状態を把握し、又、居宅ケアマネジャーから生活状況報告を受け、本人の希望や不安を理解しようと務めるよう心掛けている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・御家族との話し合いにより事前対応している。</p>	
25	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・相談時、家族と本人の思いや状況を確認し、担当ケアマネジャーや地域包括支援センターと連絡を取り合いながら、必要なサービスに繋げるようにしている。</p>	
26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・新利用者に対し、1～2W重点的に厚遇し、その人自身のペースを掴みながら、サービスを提供する。その際、御家族より細かな情報ももらっている。又、本人や家族に施設見学をしていただき、サービス利用に繋げて行っている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・コミュニケーションを密にし、レクや回想法を通して関係を築いている。 ・本人の家族への思いや不安等、傾聴し、共に支えあう関係作りをしている。	
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・利用者の様子や本人の思いを家族に伝え、本人を共に支えていけるよう、協力を願ったりしている。	
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・GHないでの家族を思いやる会話等耳にした時、そのことを伝え、又本人が普段言えない事を代弁して伝えたりしている。・又、外出や外食を勧めたり、家族とより良い関係でいられるよう支援を心掛けている。	
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・友人、知人の来訪時は、お茶を囲んでゆっくり話ができるように心掛けている。いつでも誰でも気軽に来訪してもらえる様な雰囲気作りに務めている。 ・電話や手紙での連絡を取り持ったり、一人一人の生活習慣を大切にしている。	
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・個々の出番を見つけたり、共同で行える行事や物作り等考えている。又、気の合う者同士で過ごせる場面作りや、毎日のお茶や食事の時間は多くの会話を持つように務めている。	
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・他の事業所へ移られた方の訪問を利用者と一緒に行ったり、入院された利用者の方の病院への見舞いや家族を見かけたら、近況を聞いたり等の声掛け等行っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・日々の会話やかかわりの中で、本人の思いを汲み取るよう努力している。又、意思疎通困難な方に関しては、本人の立場に立ち、最良の方策を家族や職員で検討している。・ケース台帳冒頭に本人、家族の思いを記入している。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・情報提供、本人、家族とのコミュニケーションの中で把握している。・利用者一人一人の生活リズムを理解し、出来ることに重点置き、全体の把握に努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・体調の変化や心身状態を観察、理解、異常の早期発見に務め、対応している。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	・本人、家族の意向を基に、日常の介護を通して介護計画の見直し、作成を行っている。 ・アセスメントを含め職員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・プランの評価前に予期せぬアクシデントが発生した場合、御家族や運営者に報告、連絡、見直しや改善、作成を行っている。	



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との共同</b>			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>・本人や家族の意向を踏まえ、随時意思を確認しながら取組んでいきたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>・本人や家族の意向を踏まえ、随時意思を確認しながら取組んでいきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・認知症レベル、体調(発病)により、住み替え時サマリーを徹底し(情報提供)、家族への説明を行う。</p> <p>・サマリー等で情報交換を行い、ダメージを最小限に食い止めるようにしている。又、職員や他入居者と共に機会を作って訪問したりしている。</p>	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・例えば、ケース記録には、イニシャルで入居者の名前を記載する等視、個人の守秘義務を徹底している。</p> <p>・朝礼や全体会で常にプライバシーを損ねないよう対応を徹底している。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・利用者の嗜好品や入浴にはアドバイスを含みながら、本人の意思を尊重するようにしている。</p> <p>・利用者に合わせて声掛けをしながら出来るだけ自分で決める場面を作るようにしている。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・その人らしい生活がすごせるように過去の生活歴を基に特技や趣味等を把握し、サービス提供に努めている。</p> <p>・朝礼で、その日の個々の希望を聞いて実現にむけて、職員が工夫、検討して取り組む。</p>	○  ・個別に散歩、入浴、リハビリの希望を伺い対応している。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>・今までの馴染みのある品物、服を取り入れ、自立で決定の出来ない人には、アドバイスを含みながらサービス提供している。</p> <p>・理美容は御家族と馴染みの場所で整えられるように連携を取っている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な範囲で、下ごしらえ、下膳、洗い物をしている。</li> <li>・個々の能力に応じて行ってもらっている。</li> <li>・職員と一緒にテーブルを囲み楽しく食事が出来る雰囲気づくりも大切にしている。</li> </ul>		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の嗜好品を理解しており、それらが楽しめるようメニューに取り入れている。</li> </ul>		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄チェック表を使用し、尿意のない利用者にも仕官を見計らってトイレへの誘導を行っている。</li> </ul>		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のその日の希望を確認して入っただいている。一人一人の気持ちに合わせて入浴してもらっている。</li> </ul>		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく日中の活動を促し、一人一人の体調や希望を考慮してゆっくり休息が取れるよう支援している。又、昇進前の水分補給も兼ね、暖かい飲み物を飲みながらおしゃべりしたり、配慮を行っている。</li> </ul>		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の生活歴を元に、その人の得意とする場面づくりに心がけ、その人らしい生活を尊重している。</li> <li>・野菜の皮はぎ、後片付け、花や畑の世話等、その方の出番を全職員が把握している。</li> </ul>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・家族との相談の上、お小遣いを預かり、外出時やお買い物時などの機会に自分で支払うように支援している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・本人の希望や気分に応じて、園外への散歩や良心市へ買い物派の参加を継続する。又、スーパーでの買い物やドライブや住み慣れた自宅周辺など積極的に馴染みの場所へ外出支援を行う。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・外出がある方においては、御家族と連絡を取り、可能な範囲での外出をしていただいている。又、頻度は少ないが、入居者、職員とで気分転換にドライブは出かける時もある。	○	・外出する機会を可能な限り、増やしていきたい。例：ふるさと訪問(個別に自宅近くへドライブ等)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話での会話が可能な方に関しては、本人様の希望がある時、電話にて会話ができる様に支援している。又、正月の年賀状作成支援等も行っている。(御家族によっては、往復はがきで音信のあるかたもある。)		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・必要に応じて御家族様と連絡を取り、仕事の合間や仕事帰り等御家族様の都合の良い時に気軽に来やすい雰囲気作りに努めている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・研修への参加、職員全体会、又、資料を元に職員全員が共有認識を図り、ケアに取り組める様努力している。		


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>・開放的な施設を目指しているが、時間帯によっては離園の心配がある。(時間帯によっては玄関や居室窓を開放している。)</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>・消防署の協力を得て、救急手当、蘇生術の研修を全ての職員が受け、対応出来るよう取組んでいきたい。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>・御家族にも協力を得るようにした。 ・他人に頼らず月一回の災害時避難訓練を実施している。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・感染研修会に参加したり、マニュアルを作成し、全職員で学習し、予防対策に努めている。玄関での手指の消毒やペーパータオルの使用、インフルエンザ予防ワクチン接種等、予防に努めている。 ・職員の研修参加や回覧等で周知徹底を行っている。		
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・まな板やふきん等を毎晩漂白し、清潔を心掛けている。又食器調理器具は熱乾燥を行い、台所水回りの清潔や衛生に心掛けている。新鮮で安全な食材を使用する為、鮮食品は当日の配達のものを使用している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・夕方、ポーチ、玄関等の点灯をしている。又、庭の植木、花木等の手入れを行い、季節感を大事にしている。・入り口や玄関内ベンチを置き、一息つけるスペースを作っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・明るすぎず暗くない様、照明やカーテンに注意し、食堂、居間には季節の花や行事の(季節の)ポスター作り等をして張り付ける。・まな板の音やご飯の炊ける匂い等五感や季節感を意識的に取り入れる工夫をしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・リビングにはソファ、TVなどを設置し、和室には人形や、コタツ等を設置している。又、庭にはベンチを設置し外気に触れながら過ごせる様に工夫をしている。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	・タンスや椅子以外にもそれぞれの利用者の好み や馴染みのもの等を生活スタイルに合わせ、居心 地の良さに配慮している。		
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	・外気との温度差がある時は、温度計と利用者の 様子を見ながら調整をしている。又、場合によ っては一人一人の状態により上着を一枚増やしたり と、こまめに配慮している。 ・一定の時間を決め、換気を行っている。又、ト イレは常時換気扇を使用し悪臭が出ないようにし ている。		
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	・手摺りの設置、段差のない建物、又、歩行困難 な利用者に対しては手引き歩行等を行っている。 ・車椅子、シルバーカーの使用が出来るスペース の確保を行っている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	・混乱や失敗が生じた場合は、その都度職員同士 で話し合い、本人の不安材料を取り除き、力を取 り戻せるよう試みている。 ・夜間、トイレの電気を点灯し戸を開放してい る。		
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	・菜園、花壇等があり、収穫や草引き等に呼びか け、参加してもらっている。又、天気の良い日 には花見等も行っている。 ・園庭は、車椅子の方も空気や景色が楽しめる。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・平行棒、レッグプレスを活用し、下肢筋力の低下予防及び転倒の予防する為、リハビリを毎日の生活に取り入れている。又週一回、PT来所にて数名の方が、リハビリ指導を受けている。
- ・その人らしい生活を尊重している。
- ・近隣の保育園児、小学児童との交流の機会を持っている。